

平成 19 年度 ExTEND2005 フィージビリティースタディー公募要綱

1. ExTEND2005 基盤的研究フィージビリティースタディーの目的

環境省では、平成 17 年 3 月に公表した「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について ExTEND2005 」に基づき、取組を進めています(別紙 1)。

その柱の一つとして基盤的研究及び野生生物の生物学的知見研究を推進しています(別紙 2)。

平成 19 年度は、基盤的研究及び野生生物の生物学的知見研究として別添(別紙 3)の研究課題が採択されています。

2. フィージビリティースタディーの実施

今年度以降の新規研究課題候補として、フィージビリティースタディーを公募します。フィージビリティースタディーでは、平成 19 年度研究計画承認後から平成 20 年度末までの 1 年強で、平成 21 年度以降概ね 1 年間の研究の実行可能性を検証していただきます。

- (1) 研究内容； 原則的に、ExTEND2005 に即した研究であること。
野生生物の生物学的知見の収集(2 課題程度)
野生生物の観察によって生物個体(群)の変化やその前兆を発見した場合、その変化が異常か否かを評価し、その変化のメカニズムを把握するための考察研究を行う。その際、実験室内における化学物質の内分泌かく乱作用に関する研究とリンクされるフィールド調査であること。
化学物質の内分泌かく乱作用に関する基盤的研究(別紙 2)
(2 課題程度)
- (2) 研究費の規模； 1 課題当たり 200 万円程度(平成 19 年度)
平成 20 年度は 400 万円程度
- (3) 採択予定課題数； 4 課題程度
- (4) 研究期間； 基盤的研究企画評価検討部会及び野生生物の生物学的知見検討部会による研究計画書承認後～平成 21 年 3 月 31 日
- (5) 研究成果； 今年度の研究進捗状況及び来年度の計画については基盤的研究企画評価検討部会及び野生生物の生物学的知見検討部会合同成果発表会(平成 20 年 2 月開催予定)にて発表していただきます(来年度の研究成果発表会は平成 21 年度末を予定)。

3. 応募要件

- (1) 提出物 [1] 平成 19 年度 ExTEND2005 フィージビリティースタディー研究応募票(別紙 4)(参考:別紙 5 記載例)
[2] 研究概要を説明するパワーポイント(スライド 6～8 枚程度、発表時間として 5 分程度)資料
- (2) 応募受付期間 平成 19 年 9 月 18 日(火)～10 月 9 日(火)
- (3) 提出先 ehs@env.go.jp
メールタイトルは「研究応募(所属・氏名)」としてください。また、メールの容量が 2MB を超える場合は、パワーポイント資料を CD-R に記録し郵送してください(10 月 9 日(火)消印有効)。

4. 研究課題の採択

応募要件を満たした研究課題について、基盤的研究企画評価検討部会・野生生物の生物学的知見検討部会(別紙 6)の合同検討部会(平成 19 年 10～11 月東京にて開催予定。非公開)において審査を行います。その際、応募者には、合同検討部会委員のヒアリングを受けていただく場合があります。ヒアリングの詳細については、別途メールにて連絡します。なお、応募者が参加出来ない場合には、代理人の参加も可とします。さらに、応募者多数の場合は、応募提出物をもとに一次選考します。

5. 研究課題採択後の流れ

検討委員による審査の後、採択された研究課題については、改めて、合同検討部会からの意見を踏まえた詳細な研究計画書及び詳細な見積書を提出していただき、基盤的研究企画評価検討部会及び野生生物の生物学的知見検討部会での承認の後、研究を開始していただきます。

6. その他

「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について-ExTEND2005-」に関するより詳しい情報については、環境省ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/chemi/end/extend2005/index.html>